

令和4年7月19日 メルボルン交流抄

「アデレードに眠る日本人の守り人」

先日、アデレードのチェルトナム墓地を管理するアデレード墓地管理局最高経営責任者のロバート・ピット氏に会いにアデレードに行ってきました。これまで10数年に亘り日豪関係のために尽力されてきた同氏の功績を讃えて、在外公館長表彰を授与してきました

このチェルトナム墓地には、1887年、オーストラリア方面練習航海中に結核で命を落とされた川上吉熊海軍士官候補生のご遺体が埋葬されています。当時のオーストラリアは英国連邦の一部であり、ご遺体を乗せアデレードに寄港した「龍驤（りゅうじょう）」は地元の人々から温かく迎えられました。また、このチェルトナム墓地には、1929年ポートアデレードに係留中の汽船「旭光丸」のボイラーの事故で亡くなられた池山仲七氏と白濱寅一氏のご遺体も埋葬されています。

ピット氏はこの墓碑を日頃より維持・管理し、特に歴代の在豪大使や総領事などが訪問する際には自己負担で花輪を準備して迎えてくれました。2021年5月山上大使夫妻と一緒に私も参拝に行ってきました。その他、埋葬者の身元確認や遺族関係者の情報収集を行う等、本当に地道な努力によって日豪関係に貢献されてきました。この功績を称えて今回の表彰となりました。

この表彰状授与の際、温厚で物静かなピット氏は涙を流しながら、自分の行って来たことを高く評価してくれた日本に心より感謝したいと何度も繰り返し言うておられました。

今後、ピット氏はアデレードでの実績を買われ、シドニーでもっと広大な墓地を管理する責任者になるとのことです。ご活躍を祈っています。



